

平成26年度 村上市総合学習部 活動報告

部長 渡辺 展生

1 研究主題

郷土のよさについて体験を通して問題を迫及する子どもを目指して

2 研究の概要

- | | | | | |
|-------------|-----|-----------|------------------|-----------|
| 5月 9日 (金) | 第1回 | 全員集会 | 会場：村上総合文化会館 | 内容：活動計画作成 |
| 8月 22日 (金) | 第2回 | 会場：上海府小学校 | 内容：情報交換と塩作り体験研修会 | |
| 11月 25日 (火) | 第3回 | 会場：三面小学校 | 内容：鮭の塩引き作り体験研修会 | |

3 研究の実際



(1) 第2回研修会

夏季休業中に上海府小学校を会場に、総合学習の年間指導計画について情報交換と塩作り体験研修会を行った。当日前半は、各校の年間指導計画を参加人数分印刷して持ち寄り、各校の実践例を紹介し情報交換をした。また、指導上の悩みなどを出し合い、部員同士で助言したり顧問に指導していただいたりした。各校の実践例や指導上の悩みを共有できたことはとても参考になり、有効であったと感想が出された。



当日後半は、上海府小学校の部員を講師とし、塩作り体験研修会を行った。講師の過去の塩作り単元の説明の後、上海府小学校前の海水を蒸発させて塩を作った。海水から塩を作る貴重な機会であり、総合学習の一つの実践例としてとても参考になった。

(2) 第3回研修会

11月に三面小学校を会場に、会場校の校長を講師に依頼し、鮭の塩引き作り体験研修会を行った。総合学習の単元で鮭の塩引き作りを行っている学校は多いものの、講師は各校の職員や保護者、地域ボランティアに依頼している学校が多い。実際に部員が鮭の塩引き作りを体験することによって、部員自身が郷土のよさを感じ、児童によりきめ細やかな指導ができると考えられることから体験研修会を設定した。

当日は、三面小学校校長の指導のもと6名の部員が鮭の塩引き作りに取り組んだ。作業は労力がかかり苦勞した面もあったが、貴重な機会となり参加者から喜びの感想がたくさん聞かれた。



4 成果と課題

○ 成果

活動計画作成段階で部員からの要望を取りまとめ、情報交換や郷土のよさを感じられる体験研修会などを実施した。このように実践的で児童に還元される研修計画を立てたことは、参加者の感想からも有効であったと考えられる。第2回、第3回ともに講師を部員や部長所属校校長に依頼したことも、教員の目線で児童の指導に生かせるようなより充実した研修会にできた要因の一つと考える。

○ 課題

第2回、第3回とも実施時期や講師選定、及び準備に労力が必要だった。部員で分担し負担軽減された面もあるが、次年度以降の参考となるように今年度の具体的な活動状況を保存し、引き継げるようにしていきたい。